



千日紅

第12号

平成31年 1月28日

発行：入谷小学校

文責：主幹教諭 小野寺孝夫

花言葉は
「安全」

ダミー人形を利用して講義

勇気をもって行動しよう 入谷っ子少年消防クラブ活動

救急訓練キットにより
心臓マッサージの練習講話をしていただいた
遠藤救急係長さん

倒れている人がいたら、自分のできることをしつかりやろう！

先週24日(木)5・6校時に南三陸消防署から6人の署員の方を迎えて、救急講習会が行われました。入谷っ子少年消防クラブの活動として昨年からこの時期に行われています。講義担当の遠藤さんから倒れている人がいた時の対処方法や近くの人と協力して救助を行う時に気をつけることを聞き、救急法を知ることの大切さを実感することができました。子供たちは実際に救助を行うことはありませんが、知識として知ることは緊急の時に必要です。子供たちは救急訓練のキットを使用して心臓マッサージを一生懸命練習していました。



当日、救急講習会にお出でいただいた6名の署員の方々です。救急隊と消火隊の2チームの皆さんです。救急の模範演技や実技訓練の時にうまくできなかつた時は丁寧に教えていただきました。

講習会の最後には、少年消防クラブ団長の高橋菜々心さんから「いざという時に行動できるようにしていきたいです。」とお礼の言葉にあわせて救急時の心構えを発表してくれました。



防習気気なれいのる思長際
署会持をいてま感間いいに講
のをち出けいし想はま時心習
方行をしどてたが、し間臓会
々う抱て、あすたやマ後
に貴く、今、まりご。るツの
感重子人日救た、くこと
感謝な供を知急、命長ーと
い機が助れ活ーをく心はジ
でた会多けた動い救感臓と
は、しにくたこがざうじマてし
ま協いいと、と大、ツもて子
す力までをでい変大サ疲み供
いしす生きうさ変、れれたた
たた。かる時をでジるらち
だ。しかに実しをこしら
い救とて分人感たしとしら
た急い、かかし。てだく、
消講う勇ら倒てーいとて実

命を救う大変さを実感